



医療法人社団 仁恵会

石井病院

人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

Now
Vol.215

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2026.2



医療法人社団 仁恵会「合同新年会」を実施しました

医療法人社団 仁恵会「合同新年会」を1月17日（土）グリーンヒルホテル明石にて開催しました。コロナ禍を経て約6年ぶりの合同新年会には135人の職員が参加し、顔を合わせて語り合う中で親睦を深め、仁恵会としての連携がますます深くなりました。

始めに石井理事長より、石井病院新築移転（2006年）前から現在に至るまでの医療・介護制度改革の歴史と仁恵会の戦略的方針や取り組みについて当時の資料等を参考に説明があり、新しい地域医療構想における仁恵会が目指すべき方向性を示されました。乾杯の後は和やかに食事と歓談をしながら、新部署の紹介を行いました。最後に梶浦副院長からの挨拶では、職員全員に活力を与える言葉で締めくくっていただき、最高の雰囲気の中で新年会を終えることができました。

本年も、患者さま一人ひとりに寄り添い、「安全・安心」と「信頼」を届けられるよう仁恵会職員一同努めてまいります。



(石井理事長挨拶)



肥満症治療薬（GLP-1受容体作動薬：ウゴービ®）のご案内

★ 肥満症とは？

肥満症とは、「肥満（BMIが25以上）」であり、健康を脅かす合併症が1つ以上あるか、内臓脂肪蓄積や合併症になるリスクが高い場合に診断されます。

基本的な治療は、食事療法や運動療法、生活習慣の改善になりますが、肥満の原因にストレスや遺伝子に関係していることも判明してきており、そのため食べる量を減らして運動を行えば体重管理は誰でも同じようにできるはず、とは一概には言えません。

また、**薬物治療**を行う場合は、**下記の基準と処方までに6ヶ月以上の生活習慣指導が必要**です。

★ 適応となる条件

- **BMIが35以上**の方（合併症の有無は問わず）
 - **BMIが27以上**で、肥満に関連する高血圧、脂質異常症、2型糖尿病を含めた合併症（耐糖能異常、痛風、月経異常、脂肪肝、高血圧など）を2項目以上持っている方
- ※ 日本においては保険診療でのウゴービ治療は大学病院など専門施設に限られており、対象も厳しく制限されています。そのため、専門施設に通院できない方のために当院では「**自由診療**」としてご案内しています。

★ 肥満症治療薬「ウゴービ®」について

ウゴービ®は「**肥満症の治療薬**」として、**2024年2月に厚生労働省に認可された初の注射薬**です。

GLP-1受容体作動薬という種類のお薬で、食欲を調整するホルモンであるGLP-1と似た働きをし、脳の食欲中枢に作用することで、満腹感を持続させ、食欲を抑える効果が期待できます。

臨床試験では、食事療法や運動療法と併用することで **平均13.2%の体重減少** が報告されており、これまでにない高い減量効果が期待されています。

なお、**治療には適応条件等があります**ので、まずは「**メタボリック・肥満外来**」にてご相談下さい。



	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	—	石井洋光 9:30～	石井洋光	—	—	石井洋光 (1.3.5週)
午後 16:00～19:00	石井洋光	—	—	—	—	

※ メタボリック・肥満外来では、紹介状またはお電話（代表：078-918-1655）での診療予約が可能です。





人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

日本透析医学会統計調査 「わが国の慢性透析療法の現況（2024年度）」

～あなたの透析治療について 知ってほしいこと、より良い治療を目指して～

いま、透析患者さんはどのくらい？

日本全国で約33万7千人が透析治療を受けています。これは日本の人口約366人に1人。つまり、皆さんは決して孤独ではなく、全国の医療機関で同じように治療に向き合う仲間がいるということです。

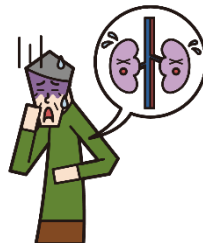
ただし注目すべき変化があります。患者数は徐々に減少傾向にあります。これは新しく透析を始める患者さんが減少している一方で、治療技術の進化により、さらに多くの患者さんが長く健康的に過ごすことができるようになったからです。

患者さんの特徴 — あなたはひとりではありません

平均年齢は70.27歳。透析患者さんの高齢化が進んでいます。

原疾患（透析に至った原因）のトップ3

- 1位：糖尿病性腎症（39.2%）… 糖尿病が腎臓を傷つけるために起こります
 - 2位：慢性糸球体腎炎（23.0%）… 腎臓のろ過機能が徐々に低下する病気です
 - 3位：腎硬化症（14.5%）… 高血圧などで腎臓が硬くなる病気です
- 自分の原疾患を知ること、これからの生活管理がより効果的になります。



透析治療の方法は進化しています

すべての患者さんが同じ治療ではありません。

治療方法	割合	特徴
血液透析濾過（HDF）	63.3%	新しい透析方法。より多くの老廃物を取り除けます
血液透析（HD）	33.2%	従来からの標準的な方法
腹膜透析（PD）	3.2%	自宅で治療できる方法。仕事と両立しやすい
在宅血液透析	0.2%	自分のペースで治療できます（自分で穿刺、開始、回収が必要）

あなたが受けている治療法は、医師の判断であなたに最適なものです。

これからの透析治療 — 希望と課題 “透析患者さんの寿命が延びています。”

透析歴が長い患者さんが増えています。40年以上透析を続けている患者さんもいます。透析技術と医学の進歩によって、“透析は「人生を終わらせる治療」ではなく「**人生を続ける治療**」”へと変わりました。

しかし、課題もあります。

- 透析患者さんの死因の第1位は**感染症（24.2%）**です。次が心不全（19.0%）。
- 透析患者さんは糖尿病や高血圧などの持病を持つ人が多いため、毎日の生活習慣管理が重要です。

仁恵会からのメッセージ — 一緒に歩みましょう

透析治療は医療技術の進化により、確実に良くなっています。

★ 最新の治療方法を導入 ★ 感染対策の徹底管理 ★ 透析液の高度な水質管理（日本の施設は世界で最も厳しい基準を達成）

あなたがすべきこと：✓ ご自身の生活習慣を理解し、医師・看護師の指導を聞き、ご自身に合う生活習慣を見つける

✓ 毎日の血圧測定（特に重要） ✓ 食事・塩分管理 ✓ 定期的な検査 ✓ 不安なことは遠慮なく相談

透析は「終わりの始まり」ではなく、「**新しい人生のパートナー**」です。医療スタッフと一緒に、最高の治療と生活の質を目指しましょう。

仁恵会透析センター一同は、「仁＝思いやり」の心でこれからも透析治療に打ち込んでまいります。

資料出典：日本透析医学会統計調査 「わが国の慢性透析療法の現況（2024年度）」



仁恵会本部事務課長兼
人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック
事務長
原 真一郎

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 井口 村上 古門 森

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<https://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>



日本医療機能評価機構
認定第 JC2663 号